



## 障害者の仕事創造と経済的自立支援のために 小型家電のリサイクル事業をおこなう



# NPO法人 エクアル

NPO 法人 equ-alle 理事長 高橋 俊文

桐生市にて、障害者の就労を支援している『NPO 法人 equ-alle』と申します。今回は、取り上げていただきまして、ありがとうございます。

私たちは、昨年12月3日に設立したばかりの法人です。今回は、私たちの活動の概要について書かせていただきます。

まず、屋号の『equ-alle』ですが、『エクアル』と読みます。『equal』(対等) + 『alle』(デンマーク語; 全ての) の2つの単語を組み合わせた造語になります。

これは、障害者や健常者などは関係なく、全ての方は対等であるべきであるとう考えのもと、この屋号を考え、名付けました。

### ■私の経歴

私には、知的障害者の弟がいます。この弟の存在が、私の障害者に対する想いを強くし、起業に導いてくれたのは間違いのないと思います。私は現在41歳、弟は39歳ですが、幼い頃からずっと一緒に歩んできました。私た

ちの幼少時代は、30年以上前に遡ります。その当時、障害者は社会の中で非常に立場の低い存在であったと記憶しています。まだまだ障害者への認知・理解が進んでいない時代でありました。障害者に対する差別もキツイ時代であり、私も周囲からの差別的視線を受けることは常でした。周囲の方の理解、行政側のインフラ整備も不十分な状況の中、障害者は外出ひとつするのも辛い状況であると、幼心に感じたものです。

大人になるにつれて、「障害者のために何かしたい」という気持ちは少しずつ高まってきました。高校生の頃から、弟の施設に遊びには出かけていましたが、大学生になると、障害者とのキャンプに参加するなど、ボランティア活動も積極的におこないました。

自分の将来のことを考える中で、色々な経験を積んだ後、最終的には一般企業へ就職しました。13年間、無我夢中で働きましたが、その片隅には、当然、障害者に対する気持ちがありました。自分の予定では、39歳で会

社を辞め、独立をする、と強く思っておりました。予定通りその歳で会社を辞め、最初に始めたのが障害者施設向けのコンサルタントでした。障害者が抱える社会的な問題はたくさんありますが、特に、就労問題の解決に向け、動き出しました。

### ■小型家電リサイクルとの出会い

障害者施設のコンサルタントをおこないながら、幅広く障害者が携われる仕事がないか、調べていきました。障害者の就労問題の先にあるのは彼らの経済的な自立であり、そのためには、障害者が携われる単価の高い仕事を探す必要性がありました。

調べていく中で、新潟で先進的におこなわれている、小型家電の事業の存在を知りました。すぐに新潟とアポイントを取り、3日後に新潟へ訪問。直感的に「これだ！」と感じました。



### ■障害者が携わる小型家電リサイクル、群馬初のスタート

昨年の8月、桐生市にある福祉施設に、小型家電のリサイクル事業を提案し、技術指導をおこないながら少しずつ前進していきました。最初は、利用者さん、職員それぞれが、できるかどうかの不安を持っていたと思います。しかし、利用者さんの真剣さは素晴らしく、それが力になっていきました。

### ■自法人での障害者雇用

福祉施設の指導をおこないながら、いつかは、自分の所で障害者雇用をおこないたいという想いは強く持っておりました。幸い、私の周りには良き仲間がたくさんおり、その方々の協力のもと、昨年12月3日にNPO法

人の設立となりました。今は、障害者2名、健常者1名の計3名を雇用し、小型家電のリサイクルをおこなう作業場を開設し、日々、汗を流しております。

エクアルの事業を通じ、いろいろな障害者と接する機会が増えてきています。最近では、施設からの実習生の受け入れを始めました。また、養護学校での校内実習にも携わる機会をいただくことができました。

### ■今後の equ-alle の活動

作業場の開設から、早いもので半年が経とうとしています。雇用した従業員の技術は

日々向上しており、何よりも、楽しそうに仕事をしてくれる彼らは、非常に輝いて見えます。

障害があることで自信を持ってない方が多いと感じています。

しかし、できることを増やせば、自信は持つことができると、私は感じています。当法人の従業員も、少しずつできることが増えてきました。最近では、効率も考えながら作業をおこなうことを指導しています。

社会の中で必要とされる人、必要と感ぜてもらえる人になることは、働く上で大変重要なことだと思います。日本は資源のない国。だからこそ、きちんとしたリサイクルが必要であり、それが障害者の手でおこなわれるということは、非常に意義のあることだと思います。

今まで、小型家電リサイクルに伴う様々なノウハウを蓄積して参りましたが、このノウハウをもとに、もっともっと多くの障害者が活躍できる場を創っていききたいと思います。



フェイスブック

<https://www.facebook.com/npo.eualle>